

議会だより だいせん

63号

2021年2月12日発行
鳥取県大山町議会

大山町の未来について討論… 24

14人が一般質問 …………… 10

コロナ対策を議論 …………… 2

たっぴりの雪を楽しむスノーボーダー

12月
定例会

www.daisen.jp/gikai/

大山町議会

検索



引き続き議論 討論会は新スタイルに挑戦

12月定例会は7日から18日までの12日間の会期で開きました。

議案は、条例の制定及び一部改正5件、規約の変更2件、指定管理の指定1件、人権擁護委員の推薦につき意見を求めること1件、一般会計補正予算2件、特別会計補正予算8件を審議し原案通り可決しました。

一般質問では、引き続き多くの議員が新型コロナ対応について取り上げ、町長の考えを質しました。

議員発議による「不妊治療への保険適用の拡大を求める」議案の内容は可とするも、提出のあり方を巡って議論となりました。

議員討論会は「大山町の未来を考える」のテーマのもと、新しいスタイルで討論しました。(関連24ページ)



農産物処理加工施設管理費

有償貸し付けにあたり、設備の修繕や備品の購入

219万円



小規模農家へのコロナ対策

自走式草刈機の申請者が多くなったことによる増額

3400万円

12月
定例会

コロナ対策を

補正予算の 主な事業



障がい者自立支援事業

介護・訓練等給付費と
自立支援医療給付費の増額

7940万円



小規模保育所の建設

本管から直接給水するための工事費の
増額および水道加入金の予算計上

396万円



名和クリーンセンター修繕工事

設備の不具合箇所および長期補修計画に
もとづくもの

1183万円

チェックします

12月定例会

議案の

質疑

討論

質疑

一般会計補正予算

男女共同参画アンケート

〔西山議員〕アンケートとはどんな内容か。
 〔福祉介護課長〕令和4年度から5年間の第4次男女共同参画プランを策定する予定で、その検討資料として行う。共同参画の審議会を検討する。対象者は2000人を無作為抽出する。

ため池のハザードマップ作成

〔野口俊議員〕追加されたため池はどこか。
 〔農林水産課長〕防災も名和地区である。重点ため池が3カ所追加された。いずれも名和地区である。

職員の業務量調査

〔門脇議員〕持続可能な行政運営、調査する業務の内容、調査の目的について説明を。
 〔総務課長〕各職員の業務量を時間数で具体的に、定量的に測定する。仕事の問題点を洗い出すのが目的である。
 〔岡田議員〕なぜ今回の補正予算で上げるのか。全業務で調査するのか。調査の結果、職員の再配置もあるのか。
 〔総務課長〕1年間での終了が困難であり、今から実施する。全業務が対象で、再配置はあり得る。



各課の業務量は?

農産物処理加工施設

〔池田議員〕農産物処理加工施設の機器修繕料の内容は。
 〔企画課長〕プレハブ式の冷蔵冷凍庫の床面に入ったひびの修繕、レトルト釜の内部の修繕などをする。



貸し出すことになった加工施設

名和フリースペースセンターの修繕工事

〔吉原議員〕修繕工事の概要の説明を。
 〔住民課長〕焼却炉耐火物の修繕、灰出しコンベアーチェーンの交換、通風設備の整備などである。

自走式草刈り機の半額助成

〔岡田議員〕この事業は小規模農家の支援に非常に役立つている。助成した件数と今後の予定は。

〔農林水産課長〕10月までに申請が361件あった。年度末までに500件の見込みを立てている。

随意契約と競争入札

〔西尾議員〕厳しい予算を立てるときに、随意契約をずっとやるべきか。

〔西尾議員〕随意契約は増えているか、減っているか。実数は。

〔副町長〕実数は把握していないので、確認する。増えているとは感じてない。基本的な競争させているのが原則と考えている。

小規模保育所の予算増額

〔門脇議員〕工事請負費360万円の増額の理由として、水道使用量が大きい夏場の負圧

が当初から想定できなかったか。

今度の増額と設計監理委託料700万円



4月開園の「大山ひめぼたる保育園」

この関係はどのようなか。

〔幼児・学校教育課長〕事前に関係機関との協議をしていなかったためである。申し訳ない。委託している設計業務は建物と機械設備である。今回の敷地の上下水道工事は敷地造成工事に含まれており、内部で設計している。

〔加藤議員〕小規模保育所の予算が出された当初、町長は増額補正はもうないと言われたが、今回出したことについてどう思うか。

〔町長〕協議、調整、想定をして予算を組むのが基本である。増額補正を出したことは申し訳ない。

質疑

町税条例の一部改正

〔門脇議員〕集落の公民館や公園などにかかる固定資産税の減免手続きの簡素化が目的か。

〔税務課長〕そのとおりである。

〔西山議員〕1年交代の集落の区長に

は、条例が浸透しなかったから改正するのか。

〔税務課長〕初区長会で申請漏れがないよう、また事務軽減してほしいとの要望があり、改正することにした。

条例などの改正

西部広域行政管理組合の規約変更

〔大森議員〕付則の「経過措置」とは具体的にどういうことか。

西部圏域全市町村の参画を明確にすることになる。

〔住民課長〕西部の不燃物処理施設に、境港市のリサイクルセンターが稼働

一目でわかる審議結果

11月臨時会
12月定例会
提出議案

○賛否の分かれた議案

○は賛成、×は反対あるいは保留

議案	議員名	森本貴之	池田幸恵	門脇輝明	加藤紀之	大原広巳	大杖正彦	米本隆記	大森正治	野口昌作	近藤大介	西尾寿博	吉原美智恵	岡田聡	野口俊明	西山富三郎	結果	
11月臨時会																		
大山町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について		○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成13人 可決
12月定例会																		
鳥取県西部広域行政管理組合規約を変更する協議について		○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	賛成14人 可決
全国知事会の提言に基づき、新型コロナウイルス禍における日米地位協定の抜本的改定に取り組むよう国及び関係機関への意見書提出についての陳情		×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	賛成4人 不採択	
不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書の提出について		×	○	○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	○	×	○	賛成8人 可決	

○全会一致で可決・同意した議案

11月臨時会…条例（4件）、補正予算（8件）

12月定例会…条例（5件）、協議（1件）、指定管理者の指定（1件）、補正予算（10件）、人事（1件）

議案の採決は、杉谷洋一議長を除く15人で行います。

みなさんからの陳情はこうなりました

12月定例会で審査した陳情の結果を報告します。

題名	提出者	付託した委員会の意見・結果	本会議採決結果
全国知事会の提言に基づき、新型コロナウイルス禍における日米地位協定の抜本的改定に取り組むよう国及び関係機関への意見書提出についての陳情	鳥取県西伯郡南部町福里83 沖縄と連帯する鳥取の会 共同代表 石田 正義(他2名)	(総務常任委員会) 日米地域協定の見直しに理解を示す意見もあったが、他の協定などとの関係性もあり、地位協定だけを議論することはできないとの意見もあった。採決の結果、採択1、不採択3で不採択と決した。	不採択

国へ提出する意見書

意見書名	意見書の内容(要旨)	提出先
不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書	政府は2022年度から保険適用の拡大と助成制度の拡充を閣議決定したが、不妊治療を行う人々が安心して治療を受けることが出来るよう下記について早期に取り組むことを強く求める。 1、保険治療の拡大に当たっては、質の低下や選択肢を狭めることがないように配慮すること。 2、継続的治療は交通費・宿泊費など過重な経済的負担が多いので、負担の軽減を図っていくこと。 3、治療と仕事が両立できるよう、治療に伴う休暇制度等環境整備と効果的な相談体制の拡充を図ること。	内閣総理大臣 厚生労働大臣

常任委員会の活動

総務 常任委員会

大山町議会では、常任委員会で議案や事務・事業などを分担し、より詳細な調査を行っています。

業務量調査

- Q業務量調査の目的は。1100万円かけて調査する必要はあるのか。
- A客観的な視点で、適切な職員数を把握したい。琴浦町では実績があったと聞いている。

総務課

燃油タンクの廃止と撤去

- Q燃油の地下タンクの廃止と撤去の違いは。
- A基本は撤去だが、建屋に近い場合などは廃止とし、建屋の撤去の際に撤去する。



廃止する庄内小学校の地下タンク

企画課

コロナ禍の現状を聞き取り調査



商工会関係者と意見交換

総務常任委員会で12月8、9日の2日間、上程議案の説明を各課から受け、10日には現地調査、陳情審査を行った。

また、7日には大山町商工会との意見交換会を行い、コロナ禍での現状と必要とされる施策について聞き取りした。

税の減免申請

- Q新型コロナによる国保税や介護保険料などの減免申請は。
- A見込みより少なかったが、案内は適切に行った。

税務課

農産物処理加工施設

- Q貸し出す相手によっては必要ない修繕になるのでは。
- A修繕の経費は補助金の返還から免除される。そのため修繕を行う。

企画課

備品の購入

- Q新たなパソコン購入は。
- A児童館と小規模保育所に、プリンタとパソコンを購入する。

総務課

教育民生 常任委員会

小規模保育所の建設

Q396万円増額の内容は。

A既存設計では水圧低下が予想されるため、新規に水道本管からの引き込みが必要となった。

幼児・学校教育課

名和野球場の改修

Q表示盤の改修内容は。

Aカウント表示盤を世界基準に沿って改修し、バックネット裏の老朽化部分の修繕をする。

社会教育課

通信運搬費

Q保険証郵送費45万9000円の減額理由は。

A郵送方法を簡易書留から特定記録に変更した。今後もこの方法で行う。

健康対策課

スポーツクライミング人気で利用者増



名和トレセン2Fのクライミングウォール

12月8、9、10日の3日間、所管する各課から事業説明をうけ調査した。

10日には、小規模保育所建設現場や旧所子保育所、改修予定の名和トレーニングセンター野球場カウント表示盤や下市駅南口工事予定場所などの現地視察を行った。

生きがい拠点整備事業

Q助成制度廃止の期限設定の詳細は。

A未整備の集落などの整備計画や現状も考慮し、令和8年3月31日を失効年限とする。

福祉介護課

新型コロナウイルス対策

Qどこにどのような物を購入するのか。

A各放課後児童クラブと子育て支援センターなわに、空気清浄機を購入する。

こども課

名和クリーンセンター修繕工事

Q長期補修計画にもとづいての修繕なのか。

A毎年の点検も含め、令和14年度までの長期計画にそっての修繕である。

住民課

経済建設 常任委員会

非農地認定

◎水田の非農地認定は。

▲基本的に農振農用地は非農地認定しない。

農業委員会

イノシシ捕獲奨励金

◎町内の猟友会によって、奨励金に差はあるのか。

▲差はつけていない。

農林水産課

保管文書のデジタル化

◎保管文書のデジタル化は考えてないか。

▲現状の文書をデジタル化するのに、膨大な労力がかかる。コンサル委託になり費用も膨大になるためむずかしい。

水道課

シーズンを通じての観光客立ち寄りスポットとなるか



大山参道ににぎわいを生むお店

12月8、9、10日の3日間、所管する各課から9月定例会後の業務執行内容と令和2年度補正予算の説明を受け調査した。

10日には大山寺地区にオープンした地域商社「大山時間」のアンテナショップなどを視察した。

非常電源設備

◎役場の非常電源設備は万全か。

▲現在のところ異常は見られない。年末年始休暇前に点検する。



建設課

地籍調査の予算

◎地籍調査関連の予算増額はできたのか。

▲前年度まで年2.2km²の調査計画だったが、令和3年度は2.96km²に拡大した予算要求をしている。

地籍調査課

あなたの声を町政に

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、住民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

コロナ対策で今議会は、60分間の制限時間を50分間としました。議会だよりでは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある本会議上での傍聴をお待ちしています。

14人が町長・教育長に一般質問を行いました。

一般質問席

ページ	質問事項	質問議員
11	1. 新型コロナウイルス禍における対応は 2. 誰一人取り残さない、地域共生社会への取り組みは	西山 富三郎
12	1. 大山町の地球温暖化への取り組みについて 2. 家庭保育支援給付金の拡充について 3. 情報公開と情報提供について	門脇 輝明
13	1. コロナ禍にゆれる町の観光振興対策を問う 2. 生徒の自主性をどう生かしているか	大杖 正彦
14	1. 企業版ふるさと納税(人材派遣型)への取り組みは 2. デマンドバスの今後は	加藤 紀之
15	1. コロナ禍における家庭教育支援は 2. 地域自主組織に「まちかど保健室」を	吉原 美智恵
16	1. コロナ禍が続くなか、対策の継続・強化を 2. 住宅・店舗のリフォーム助成制度を今こそ 3. 広域行政ごみ処理施設基本構想(案)を問う	大森 正治
17	1. 通学路の防犯対策について 2. 自然と文化財・歴史を活用した観光振興と サイクルツーリズムの推進について	森本 貴之
18	1. 防災対策について 2. 農家支援事業について 3. 引きこもり対策について	大原 広巳
19	1. 平成23年豪雪の教訓は生かされているか 2. 中山地区の活性化について	近藤 大介
20	1. 農家を救う農業経営収入保険に助成を 2. 交通安全に関する道路標示の点検と再表示を	野口 昌作
21	1. 来年度予算編成方針は 2. 空き家活用状況は	岡田 聡
22	1. 農家に手立てはないか 2. 成人式の実施は	米本 隆記
23	1. 子育て支援の充実を	池田 幸恵
	1. 弱者対策をどう考える	野口 俊明

議事録は議会事務局や議会ホームページで閲覧できます

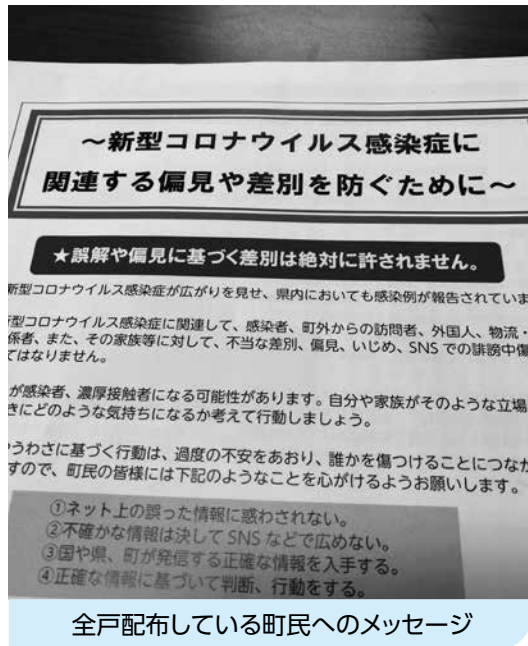


西山 富三郎 議員

コロナ禍差別 町民への対応は

町長

全戸配布している



新型コロナウイルス感染症が広がりを見せ、県内においても感染例が報告されています。新型コロナウイルス感染症に関連して、感染者、町外からの訪問者、外国人、物流・保者、また、その家族等に対して、不当な差別、偏見、いじめ、SNSでの誹謗中傷はなりません。感染者、濃厚接触者になる可能性があります。自分や家族がそのような立場にどのような気持ちになるか考えて行動しましょう。うわさに基づく行動は、過度の不安をもち、誰かを傷つけることにつながりますので、町民の皆様には下記のようなことを心がけるようお願いします。

全戸配布している町民へのメッセージ

【西山】町民へのメッセージは行っているか。
【町長】予防策としては、ホームページや防災無線で注意喚起を行ったほか、長年人権施策で培ってきた人権感覚・人権意識が発揮されることを期待して、メッセージを全戸配布している。

【西山】町民へのメッセージは行っているか。
【町長】予防策としては、ホームページや防災無線で注意喚起を行ったほか、長年人権施策で培ってきた人権感覚・人権意識が発揮されることを期待して、メッセージを全戸配布している。

【西山】市町村計画は策定しているか。
【町長】平成27年3月に「新型コロナウイルス感染症等対策行動計画」を策定し、令和2年3月に改定を行っている。

【西山】他部署との連携や地域との協働はどのように取り組むか。
【町長】コロナ禍において、地域社会では一層の分断が進んでいる。生活困窮者自立支援事業連絡会を定期的に開いている。大山町社会福祉協議会が中心となって、それぞれの分野のノウハウや支援メニューを持ち寄り、横断的に問題解決に取り組んでいる。

【西山】小・中学校は。【教育長】感染予防対策を徹底して取り組んでいる。道徳の授業では、偏見や差別が人権を侵害するだけでなく感染の拡大につながることを学んでいる。

誰一人取り残さない 地域共生社会へ

町長

包括的な システム構築にある

【町長】諸問題の解決に向け必要な体制を整える。適正に業務を行うためにも業務改善を行うい余剰資源を持つべきだと考える。

【町長】諸問題の解決のために職員が現場の課題から政策形成につながる道筋を作り、業務量を含めてマネジメントする力を持つよう支援していきたい。



社会福祉協議会の窓口



門脇 輝明 議員

ゼロカーボンシティ宣言を

町長

準備を進めている

【門脇】菅総理は、2050年までにCO₂を実質ゼロにする公約した。

この目標を表明した自治体を「ゼロカーボンシティ」としており、県内では、県と北栄町、南部町が公表した。

町民全体の認識は十分ではなく、継続的な啓発、注意喚起が必要だ。

「ゼロカーボンシティ」を宣言し、公表しては。

【町長】本町は、CO₂排出量の少ない再生可能エネルギーの普及を促進し、温暖化の防止に努めてきた。

環境政策は観光戦略にもつながりがあり、エコツーリズムの促進をはかるには、「ゼロカーボンシティ」宣言は有効だ。

温暖化対策の施策を整理し、準備を進めている。

保育にかかる経費の負担は

教育長

町として支援していくことが大切だ

【門脇】本町は、政策として保育料を無償化している。この政策や社会情勢をふまえ、保育にかかる経費は誰が負担すべきか。

【教育長】教育・保育施設の利用者負担は市町村が定めることとされている。

国は幼児教育・保育の無償化制度を施行し、本町は第3子以降の保育料の無償化や、多子世帯への支援を行っている。

【町長】保育所入所の家庭に限らず、家庭での育児にも支援の必要がある。



子育ては保護者と町が共同して

町に提出する書類に記入例を整備を進め掲載していく

町長

【町長】書式ダウンロードコーナーは利用頻度の高いものを掲載している。記入例は整備を進め掲載する。

【門脇】町に提出する書類の様式に記入例などをつけて、ダウンロードできるようにしては。町民が一番困るのは、様式がどこにあるか探すこと、そして、内容をどう書いたら受理してもらえるかが心配だ。町民サービスの向上と事務処理の効率化が期待できる。

取り組んでみては。



わかりやすい情報提供を



大杖 正彦 議員

大山観光の支援は

町長

新たな需要を取り込みたい

【大杖】 大山観光局の子会社「(株)さんどう」が運営する「大山参道ホテル頂」は予約が取れない程の盛況ぶりである。

新しいニーズを的確にとらえた成功例を町内の宿泊施設に生かす考えは。

【町長】 上質化事業や各種計画に定めている通り順序立てて進め、新たな需要を取り込みたい。

例えば、コロナ関係の予算で個人向けやファミリー向けの客室



ホテル「頂」から望む弓ヶ浜半島

に改装する事業を提案している。

【大杖】 県東部の氷ノ山スキー場は、町内の団体と実行委員会を立ち上げ夏の集客を考えている。

スキー場のグリーンシーズン活用策として地元出身アーティストを招きサマーポップコンサートを開催してはどうか。

【町長】 イベント開催は集客が一時的になり、観光業者としては大きなプラスにならないと思う。

子どもの

自主性を生かすには

教育長

状況に合わせて助言する

【大杖】 コロナの影響で学習形式も激変した。AI（人工知能）を活用したオンライン・リモート教育と対面教育のバランスをどう考えるか。

【教育長】 AIの発達に対する知識・技能を持たねばならないが、人間関係形成も重要でこちらも育んでいかなければならない。

【大杖】 ある小学校の運動会で、コロナ感染対策を生徒自身が考え企画や運営まで自主的に行った。教員は生徒たちのアイデアや生き生きした活動に「生徒から学ばされた」という。



生徒の自主性を育む活動

本町小中学校の状況は。

【教育長】 部活動では、顧問の指導により活動している。運動会では、色別チームによる応援

合戦で上級生が下級生をリードする活動が大山チャンネルでも放送された。



加藤 紀之 議員

人材派遣型の ふるさと納税は

町長

制度活用に取り組む



人材派遣型で地方創生(写真はイメージ)

【加藤】企業版ふるさと納税の人材派遣型が導入される。企業の社員を自治体に派遣してもらい、人件費には企業のふるさと納税をあて、人材を地方創生に生かすというものだ。

大いにメリットがあると思うが、本町で取り組む計画は。

【町長】制度活用に必要な地域再生計画を策定し、7月に内閣府から認定を受けた。

寄付を受け付ける事業を町ホームページで公開し、寄付企業の募

集を開始する予定だ。

事前協議と企業側の準備期間が必要で、数年間連続で寄付してもらえない企業と制度を活用できるように努力する。

【加藤】先進的な事業を実施している自治体には、スーパードキュメントのような人材が存在する。

企業から派遣してもらうことで期待できるのではないかと。

【町長】指摘のとおりで、一つの手法となる。

デマンドバスの展望は

町長

技術革新などに 応じて検討する

【加藤】タクシーの規制緩和が国土交通省から発表された。一括定額運賃と変動迎車料金の導入だが、運行事業者と利用者のどちらにもメリットがある反面、

デマンドバスの優位性が失われる懸念もある。今回は見送りになった相乗りタクシーの導入も検討されているが、

デマンドバスの今後の展望は。

【町長】町内タクシー事業者は、迎車料金を加算しておらず影響は少ない。また、一括定額運賃は、制度活用の見込みはないと聞いている。

デマンドバスとタク

シーの利用実態から考えると、影響は少ないと考えている。

【加藤】※MaaSという考え方のもと、さらなる規制緩和が進めば、デマンドバスは不要になるのでは。

【町長】技術革新と規制緩和で、過疎地域、中山間地域が持続可能となるよう、地域公共交通のあり方も考えたい。

※MaaSとは:出発地から目的地への移動(モビリティ)を最適化し、サービスとして提供すること



みきぱんだ



吉原 美智恵 議員

コロナ禍における 家庭教育支援は

教育長

条例を研究し検討する

【吉原】新型コロナは国民意識にも大きな影響を及ぼしている。

親子のストレスが増大し、家族関係が悪化している家庭が増えていくと思う。対応策が必要ではないか。

【教育長】本町の保育所や小中学校では、コロナ対策のため例年のような保護者への研修など、啓発できない状況である。工夫した感染症対策をとり啓発したい。

【吉原】保護者教育は重要で、体罰として



子育ての旅

の混同、スマホ・ネット依存による脳科学からみた悪影響など、子どもの問題行動は家庭から始まっている。「自立心を育成する第一義的責任は父母にある」と教育基本法に明記されている。これをふまえて「家庭教育支援条例」を制定し、保護者の理解を深める活動が重要ではないか。

【教育長】条例について研究し、課題解決のため、前向きに検討する。

地域自主組織に 「まちかど保健室」を

町長

協働で進める

【吉原】終わりの見えないコロナ禍のなか、高齢者の閉じこもり生活は、フレイル（加齢による心身の衰え）と呼ばれる状態になりやすい。

この状況は地域課題であり、健康の悩みや生活面での困りごと相談など、「まちかど保健室」の設置を提案する。常設ではなく、地域自主組織で行えば、広く住民にとっても身近な場所になるのではないか。

【町長】高齢者の身体機能維持のため予防事業の充実をはかっている。また、地域包括システム調査事業に取り

組んでおり、本町に合った方法を検討する。自主組織には手上げしていただき、協働で進める。

【吉原】保健室といっても、心や生活相談など

身近な交流の場として、自主組織に縁遠い人も出向いてもらえば、その存在もより重要になるのではないか。

【町長】方向性は同じであり、進めていく。



「かくわの郷庄内」のイルミネーション



大森 正治 議員

続くコロナ禍 対策の継続・強化を

町長

引き続き 必要な支援は検討する

【大森】コロナ感染の第3波は、感染者数の増加や死者・重篤者の急増など危機的状況の都道府県がある。

県内の感染者数は12月13日現在67人と全国最少だが、油断はならない。

町民の暮らしと営業を守るため、実情を把握し、支援の継続・強化が求められるが。

【町長】感染症の状況をみながら、引き続き必要な支援は検討する。

【大森】企業倒産や解雇で失業した町民の実態は、それへの支援は。

【町長】失業した町民は6〜11月の間に約10人だった。ハローワークと協力し、雇用支援をする。

【大森】就職できない卒業生の増加が予想されるが、役場職員の採用を臨時的に増やすことはできないか。

【町長】学生に限定した採用は考えていない。



リフォーム助成で住環境改善を

町長

状況をみながら 検討する

今こそ住宅・店舗の リフォーム助成を

【大森】以前実施された「住宅リフォーム助成制度」は好評で、抜群の経済効果を上げた。今回実施した「みんな応援券発行事業」の内、リフォーム券としての利用状況は。

【町長】リフォーム事業者の換金は約1500万円、応援券全体の11%あり、一定の効果があった。

【大森】低所得家庭にも使いやしく工夫し、店舗や事務所にも対象を拡大したリフォーム助成制度はどうか。

【町長】状況をみながら、必要な支援は検討していく。

広域ごみ処理施設の 基本構想案を問う

町長

発電によるCO₂削減効果を見込む

【大森】西部広域行政が進める「一般廃棄物処理施設整備基本計画案」は、検討段階からの住民参加がないが。

【町長】来年度にパブリックコメントを実施する。

【大森】2016年発効のパリ協定の地球温暖化対策などについて、検討がなされていないが。

【町長】発電によるCO₂の削減効果を見込んでいる。

【大森】ごみ発電は建設費など住民負担が重くなるのでは。

【町長】結果的には、負担増にならない。

鳥取県西部広域行政管理組合
一般廃棄物処理施設整備基本構想(案)
概要版

広域化実施可否の判断に係るスケジュール案

予定時期	西部広域	市町村
4月23日	構成市町村清掃事務担当課長会議 ・基本構想案の概要説明 ・広域化実施可否の判断に係るスケジュールの協議	広域化実施可否に係る検討
4月29日	副市町村長会議 ・基本構想案の概要説明 ・広域化実施可否の判断に係るスケジュール説明	(検討事項) ①広域化実施可否 ②各処理施設の整備形態
5月15日	正副管理者会議 ・基本構想案の概要説明 ・広域化実施可否の判断に係るスケジュール説明	
5月28日	組合議会ごみ処理施設等調査特別委員会 ・基本構想案の概要説明 ・基本構想案スケジュール変更案の協議 ・広域化実施可否の判断に係るスケジュール説明	
5月以降	各市町村からの要望に応じ、広域化実施可否の検討に係る会議の開催、支援(資料作成等)の実施	議会への基本構想案の説明
10月末まで		各市町村において、広域化実施可否の決定

基本構想のスケジュール案



森本 貴之 議員

防犯カメラ設置の検討を

教育長

課題はあるが検討する

【森本】安心安全なまちであるために、地域や関係団体などと連携し、多様化する社会のなかで、さまざまな犯罪などから住民の生活環境を守っていかなくてはならない。

直近の本町内で発生した、不審者情報などに対する対策状況は。

【教育長】今年度8月以降、数力所で不審者事案が発生している。警察署や教育委員会によるパトロールや子ども見守り隊に協力を依頼している。

【森本】道路利用者の



見守りの空白地帯に防犯カメラを

【森本】児童がひとりで行く場所など、見守りの空白地帯の把握はしているか。

【教育長】海側、山側で無数にある。

【森本】早急に実態把握をして、設置ポイントを絞っては。

【教育長】地域の人と相談して検討する。

安全のため、防犯カメラ設置を検討すべきでは。

【教育長】犯罪を未然に防ぐ効果は期待できるが、かなりの台数が必要だ。現時点では難しい。

【町長】観光客の多くは大山周辺の施設などを利用している。

今後は海側も周遊してもらえる取り組みが重要であり、誘客強化をしていく。

【森本】商工会との連携は。

【町長】アウトドアフィールドとしてブランドディングを進め、事業者の所得向上や事業

【森本】自然・文化・歴史を重要な観光資源とし、観光と商工の発展を推進しなければならぬ。

東西南北の観光的動線をつくり、面的に発展させる取り組み状況は。

サイクルツーリズムの推進状況は

町長
ルート見直しや再整備を検討する

の創出につなげる。

【森本】ジャパンエコトラックルートとナショナルサイクルルート認定を見据えたサイクルツーリズム推進の状況は。

【町長】ルート見直しや

再整備を検討している。また、文化・歴史を活用したサイクルツーリズム推進事業補助金の活用で、立ち寄り飲食店、レンタサイクルやガイドを増やしたい。



サイクリストに喜ばれる整備拡充を



大原 広巳 議員

引きこもり対策は

町長

相談業務を強化したい

〔大原〕コロナ禍が続くなか、いじめや不登校が増えていないか。現状と対策は。

〔教育長〕いじめや不登校の件数は横ばいだが、相談件数が増えている。スクールソーシャルワーカーを増員して、各中学校区のスクールカウンセラーとさらに連携する。

〔大原〕全国で引きこもりが増えている。本町の現状と対策は。

〔町長〕相談件数は増えていないが、潜在的に困っている人は多いと思われる。

人権・健康・くらしなど、引き続き相談会の広報を強化していく。

〔大原〕ひとり親家庭が孤立していないか。さらなる支援は。

〔町長〕年末を迎え、低所得の家庭に国から追加給付が実施される。町も速やかに対応する。

農家支援事業は

町長

期日までに申請を

〔大原〕農耕用免許取得事業の現状は。

〔町長〕10月末時点で143人から申請があり、今年度200人を見込んでいます。

〔大原〕支援事業の現状は。

〔町長〕10月末時点で、個人は361人、今年度500人を見込んでいる。集落は24組織で、2つの営農組織と協議中である。こちらが1月29日までに申請となっている。

今後も地域全体で農地保全につとめたい。



荒れた農地

災害時電源対策は

町長

検討していく

〔大原〕大雪時の停電対策で、建設業協会と予備電源用発電機の協力体制を考えてみないか。

〔町長〕検討してみたい。

〔大原〕除雪体制は万全か。

〔町長〕借り上げする除雪機を16台から29台に増強した。集落委託も23集落から40集落になり、万全を期している。

〔大原〕集落の会合が増えるが、検温器などコロナ対策の助成は考えないか。

〔町長〕集落で対応してもらいたい。



厳冬とコロナに注意



近藤 大介 議員

平成23年豪雪の教訓は

町長 共助が大切である

【近藤】平成23年の豪雪では、国道で約1000台の車が立ち往生し、丸2日停電した地区もあり、雪に埋もれて亡くなられた人もあった。

あの豪雪の教訓は、防災行政にどう生かされているか。

【町長】除雪が追いつかず公助が機能しないような豪雪時には、地域で助け合う共助が大切だと学んだ。情報の収集や発信が不足していた反省から、現在は、防災無線のほか、SNSも使って災害情報を提供している。地元ラジオ局とも災害情報の協定を締結した。



集落内の除雪作業は負担が大きい

【近藤】豪雪の状況を後世に語り継ぐため、当時のことを一冊の記録文書にまとめておくべきではないか。

【町長】当時は職員招集が困難で、災害対策本部が機能するまでに時間を要し、電話対応や現場対応に忙殺され、十分な資料記録が残っていない。

記録文書については、今後検討する。

中山地区の活性化は

町長 町全域を対象に取り組む

【近藤】人口減少で地域の活力が低下している。特に中山地区でその傾向が顕著である。

中山地区の活性化をどうするか。

【町長】地区に特化せず、町全域を対象とした取り組みをしている。

【近藤】フォーラム中山を中心にした中山のまちづくりが、合併後進んでいないのでは。

【町長】公共施設を作つて活性化というのは、昭和の時代の考えだ。

【近藤】10年後（令和13年度）の中山中学校の生徒数の試算は、小規模校の課題は。

【教育長】全校で90人である。

小規模校では教職員数が少なくなり、1人あたりの校務負担も増えるので課題が生じやすくなる。

【近藤】中山中学校に

寄宿舎を設け、中学生の農村留学を受け入れるはどうか。

【教育長】一朝一夕にできるものでなくむずかしい。



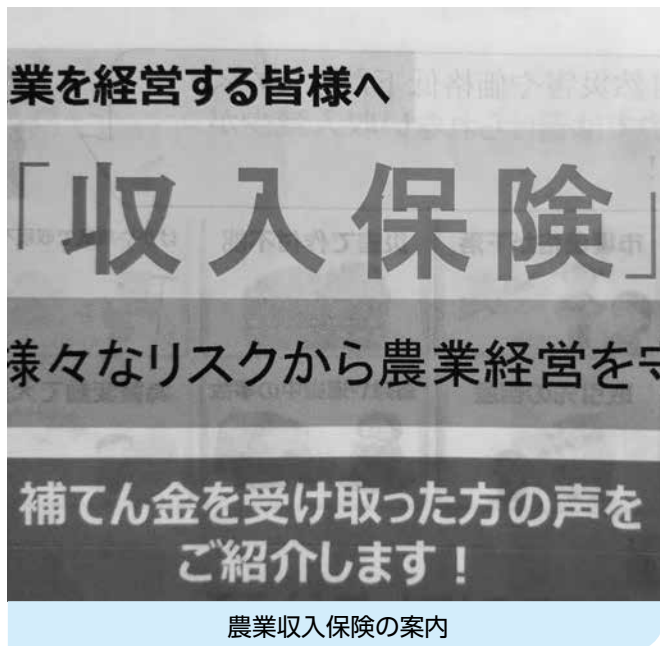
新たな宅地造成も必要になっている



野口 昌作 議員

農業収入保険に助成を

町長 実施に向け検討している



〔野口〕 農業経営収入保険が始まった時、助成をしないかと質問した。この時は「しない」との答弁だった。本町は、稲・梨・G1登録の大山ブロッコリー・酪農・肉質日本一の鳥取和牛など多様で特徴ある農業が展開されている。市場価格の低迷や、災害・けが・病気で収入がない場合も保険金が支払われる収入保険

は、農家の命綱である。農民、農業を守るためには加入を促進すべきである。掛金に助成し加入促進をはからないか。〔町長〕 大山町は農業の町で、掛金も県内ではトップクラスである。来年度予算で実施に向け検討している。〔野口〕 助成の方法は。〔町長〕 方法はまだ決めていない。これから検討する。

道路標示の書き直しを

町長

積極的に取り組む

〔野口〕 一時停止などの道路標示が薄くなり見えない所がある。交通事故防止のため書き直しが必要である。

〔町長〕 道路標示は公安委員会と、県や町などの道路管理者が管理している。地元要望やパトロールなどで点検し、関係機関で再塗装など対応している。

〔野口〕 地元要望は何件ぐらいあるか。

〔町長〕 年間3件程度である。

〔野口〕 区長会で、道路標示について要望をしてほしいということが伝えているか。

〔町長〕 今後、区長会で伝える。



薄くなった道路標示

〔野口〕 整備をもっと積極的にいう方向性を示してほしい。

〔町長〕 基本的には積極的にやる方向で考えている。



岡田 聰 議員

来年度予算編成方針は

町長

人口減少対策が重要な課題である

【岡田】改選を控えた予算の重要課題は、人口減少対策か。

【町長】人口減少対策は当然重要な課題である。町民が、「住んで良かった、ずっと住み続けたい」と思えるまちづくりの実践が重要と考えている。

【岡田】令和2年度までの事業の成果を検証し、見直しなど必要と考えるがどうか。

【町長】これまでの事務事業評価に加え、今年度から外部行政評価も取り入れ、新たな視



この町をより住みやすく

点からさまざまな意見を頂いている。

【岡田】新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、税収減が考えられるが、財源確保の見通しは。

また、新しい政策は。

【町長】減収補填^{ほてん}特別交付金や地方交付税と臨時財政対策債を合わせた交付税が見込まれる程度で財源確保は可能と見込んでいる。

先の話はしにくいですが、政策の効果を見極めながら、新たな施策を実施していきたい。

もっと空き家の活用を

町長

制度の改善をはかりたい

【岡田】中心地域にはどんどん新しい住宅が増えているが、一方で、空き家の増加に歯止めがかからない。町内の空き家の戸数や状態を把握しているか。

また、利用状況はどうか。

【町長】総戸数や状態の把握ができていないが、修繕が必要なものが一般的である。

利用状況は、入居希望者の条件に合致し、修繕費用が安いほど活用が進む傾向である。

【岡田】日本海新聞の投書にあった、奥多摩町の「若者用空き家バンク」のような制度や、寄付についてはどう考

えるか。

利活用を促進すべきと考えるが。

【町長】大都市圏に近いからこそ可能で、本町ではむずかしい。寄付を受けても、

ニーズがなければ利活用ができず、修繕費など負担ばかり増える。

空き家が少しでも減るように、有効な制度となるよう改善をはかっていきたい。



早期の活用が必要



米本 隆記 議員

農家に手立てはないか

町長

国に要望を続ける



せっかく作付けしたのに…

【米本】高収益作物次期作支援交付金のたびたびの制度変更で農家が翻弄ほんろうされている。中には当初、かけずり回って申請したが、交付対象とならなかった農家もある。

対象とならなかった農家に何らかの手立てが必要と思うが、どうか。

【町長】10月に大幅な見直しが行われ、さらに苦情によって追加の見直しが行われた。こ

の見直しには私も憤慨ふんがいしており、関係機関や近隣市町村と再度検討してもらおうよう働きかけてきた。

翻弄された農家に手立てをとという声があることも国に伝えており、今後とも要望していく。

【米本】少なくとも申請を取り下げた132人に何かできないか。

【町長】本町のみならず、全国的に出ている。きちんと対応するよう国に要望していく。

町長

コロナ禍の成人式に不安が

PCR検査に助成する

【米本】人生で一度の晴れ舞台である成人式。大人の仲間に入る覚悟と自覚を実感する大切な式典である。

式典に参加したいと思う県外在住者も多い。保護者は参加させたいが、当人は県外からの帰省者という思いもあるようだ。町の対応はどうなっているのか。

【教育長】参加者の約半数は県外から帰省される見込みである。

参加者には、3密を避け感染予防を考えた生活を送ってもらうこと、帰省される人はできるだけ1週間前には帰省し、体調を観察してもらうことを要請し



マスクを着けての成人式

ている。

成人式の参加については、自身の体調を見ながら、本人の責任ある適切な判断にゆだね

たい。

【町長】新成人やその家族などに安心してもらうようPCR検査に助成する。



池田 幸恵 議員

子育て支援の充実を

町長

病後児保育の受け入れ拡充を検討する

【池田】本町での子育てに希望を持って移住した人も多く、子育ても十人十色である。平成29年度まで、家庭保育給付金事業の対象年齢は生後2カ月から3歳までであった。しかし、現在は生後2カ月から1歳までである。事業の対象年齢を以前のようには3歳までに拡充しないか。

【町長】拡充は考えていない。

【池田】公的な支援の拡充は、安心して子育てをするための選択肢が増えるということではないか。

【町長】子育て支援策の良さや困り感に耳を傾けていきたい。

【池田】病後児保育の利用対象者は、保育園に通っている幼児のみとなっている。対象外の幼児は、米子市内にある施設を利用するしかない。

【町長】保育園を利用していない幼児も対象とならないか。

【池田】家庭で保育されている場合も、保護者の一時的な就労や病気の際には利用できるよう検討する。



公平で切れ目のない政策を

弱者対策をどう考える

町長

それぞれに検討したい

【野口】国道、県道の安全対策は。

【町長】道路管理者に通報し、対応してもらっている。

【野口】町道の安全対策は。

【町長】一般通行に支障を及ぼさないよう努めている。

【野口】「ドアツードア」型共助交通を研究してみているか。

【町長】公共交通の在り方、移動手段の確保の仕方は、検討したい。

【野口】電動カート。

アシスト自転車・シルバーカー購入に、補助金を出してはどうか。

【町長】検討したい。

【野口】登下校の安全対策は。

【教育長】毎年、点検をしている。

未改善場所は、県や国交省にも働きかけていく。

【野口】弱者の耕作放棄地はどうする。

【町長】農業委員会と協力して、管理を徹底したい。



電動カートも通れない歩道



野口 俊明 議員



全議員による討論会

メインテーマ「大山町の未来を考える」



ルール

- ・テーマごとに、提案者が提案内容を発言
- ・提案内容について、他の議員が意見や感想を発言
- ・テーマの締めくくりとして、提案者がまとめのコメントを発言

テーマ①

人口減少をどうするか

【大原議員】 新生児に 10 万円、第 3 子には 30 万円のお祝い金を。

【加藤議員】 先端企業が進出しやすいインフラ整備を。

【大森議員】 子どもたちに大山町の魅力たっぷり体験を。

【岡田議員】 子育て支援の充実を。

【野口俊議員】 大規模な商業施設を含む企業誘致を。

まとめのコメント

【大原議員】 出生者数がコロナ前に戻るようにしたい。

【加藤議員】 人口減少対策に結びつけていきたい。

【大森議員】 コロナ禍の今こそ準備が大切である。

【岡田議員】 地域社会を作っていくための教育も必要である。

【野口俊議員】 企業誘致の PR や推し進めるまちづくりが必要である。

※他の議員からの発言

どのように具体化していくのか

相乗効果が生まれる取り組みだ

手を打たないと衰退していくだけ

出産から仕事までがつながると良い

インフラ整備は喫緊の課題だ



空き地を活用

テーマ② 産業をどうするか

- 【野口昌議員】 農業公社を作って農家の負担軽減を。
- 【大杖議員】 国立公園を生かした大山観光の推進を。
- 【西尾議員】 遊休農地を活用して太陽光発電を。
- 【米本議員】 農業発展のために農業公社を。
- 【吉原議員】 大山のふもとで芸術家のワーケーションを。

まとめのコメント

- 【野口昌議員】 基幹産業である農業を守る姿勢を行政も打ち出すべきである。
- 【大杖議員】 大山を活用した富裕層を対象とする新しい事業に期待している。
- 【西尾議員】 荒廃地では、いろいろなことができると考える。
- 【米本議員】 下流域の耕作に影響がないように山際の田畑管理は行政の仕事である。
- 【吉原議員】 町政を担っている人たちに訴えていきたい。

※他の議員からの発言

公社ではなく、JAの仕事では

技術の革新を見据えての発展方法は

集落営農で農業発展はできないか

地域商社「大山時間」と地元大山はどう連携する

多くの人に大山の魅力発信は必須

テーマ③ まちづくりをどうするか

※他の議員からの発言

最新技術のフル活用は重要

議会制民主主義との兼ね合いは

安心して暮らせる住宅案に賛成

自主組織を拡大・縮小してみても

コロナ禍であるからこそ大事

- 【森本議員】 地域と共につくるニューノーマルの包括ケアシステムを。
- 【池田議員】 大山町版「100人委員会」で住民参画を。
- 【門脇議員】 高齢者が安心して生活できる町営住宅の整備を。
- 【近藤議員】 中学校校区ごとに「まちづくり会議」を。
- 【西山議員】 誰一人取り残さない地域共生社会を。

まとめのコメント

- 【森本議員】 最新の技術を積極的に活用し広い視野で大山町の未来を作っていく。
- 【池田議員】 住民参加型が増えることによって町と住民がつながる。
- 【門脇議員】 空き家問題を町営住宅の問題とつなげて具体化していきたい。
- 【近藤議員】 住民参加のまちづくりをどう進めていくかが一番大事である。
- 【西山議員】 人情豊かで、住みたい町になってほしい。



高齢者向けの住宅

11月
臨時会

一般会計

給与に関する条例等の一部改正に伴う期末手当の減額

特別職分	△12万3,000円
一般職分	△303万9,000円
特別会計への繰出金	△27万6,000円

開拓専用水道特別会計

歳入 移転補償費	271万円
歳出 給配水管布設替工事費	163万円
予備費	108万円

11月30日に開催された臨時議会では、人事院勧告による職員の給与および費用弁償などにかかる条例を3件、議員の報酬および費用弁償などにかかる条例1件を可決しました。

それにもとない補正予算の議案8件が提案され、いずれも原案のとおり可決しました。



政治倫理審査会からの報告

※「大山町議会議員政治倫理条例」とは議員として遵守すべき政治倫理基準や、議員がそれらに反する行為をした際に審査請求できる規定を定めた条例のこと。

※「大山町水産物流通回復支援事業交付金」とは

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、魚価の下落による水揚げ販売手数料の減少、漁協自営事業の定置網の収入減が深刻な問題となっており、漁協組合員および漁協の活動支援を行う事業のこと。

「大山町議会議員政治倫理条例」にもとづき、令和2年9月16日に提出された調査請求書に対する報告は次のとおりです。

1. 調査請求の対象となった議員
大山町議会議員 加藤紀之
2. 調査請求の対象となった疑義の内容
当該議員は令和2年9月定例会の本会議第3日の一般質問の中で、鳥取県漁業協同組合御来屋支所および中山支所に交付された、「大山町水産物流通回復支援事業交付金」を取り上げ、不正な方法で交付を受けていると主張し、何度も不適切発言を行った。
3. 調査結果
上記の発言は、倫理条例の規定に抵触するという結論に達した。
4. 付帯意見
議員の発言力は強く、相手側に与える社会的影響力は大きい。
発言の取り消しなどの説明と謝罪を求める。

議会からのお知らせ

9月定例会以後の議会の動きなどをお知らせします。

事務事業評価により提言

次年度以降の事業に生かしてもらうため、大山町議会では各常任委員会が事務事業評価を行っています。

各委員会でとりまとめた評価結果とそれにもとづく提言を町長に提出しました。



町長へ説明する議長・副議長

研修報告

(1) 県町村議長会の研修

11月13日、県町村議長会が主催する研修会に参加しました。

順天堂大学医学部特任教授の奥村康氏は「感染症予防」、真宗大谷派僧侶の川村妙慶氏は「人権問題への取り組み」がテーマの講演でした。

今後の議会活動に役立つ有意義な研修でした。

(2) 本町議会の研修

12月2日、鳥取大学の小野達也教授をお招きし、「大山町議会の議会改革を巡って」というテーマで、議会基本条例などへのコメントと提言をお話しいただきました。

議会基本条例の検証方法や条例改正など、多くの提言があり、本町の議会改革の参考にしたいと思います。



密を避けるため議場にて講演

お詫びと訂正

議会だより第62号で、一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。なお、訂正箇所は議会ホームページに詳しく掲載しています。ご確認ください。

<https://www.daisen.jp/gikai/10/>





みんなのひろば

声



たかむし こね
高虫 心音
(大山西小)

あたりまえに感謝

私がコロナ禍で思うことは人の大切さです。大好きなおばあちゃんに会う約束をしていたけれど、コロナの不安で会うことがなくなりました。会いたい人に会えない生活が苦しかったです。簡単に会えていた人だからこそ、

人の大切さに気づきました。

医療関係の人は、毎日コロナと向き合っていて、終息させようがんばってくれています。そう思うと、コロナ対策をがんばろうと思えました。

世界中が不安な今、小学生の私たちにできることは感謝することだと思います。終息するのは難しいと思いますが、世界中のみんなが協力して、平和な世界を取り戻したいです。



えんどう りん
遠藤 (大山小)

コロナ禍での生活の変化

去年の3月から、新型コロナウイルスが流行し、僕の生活は変わりました。特に「テレビ」を観る番組です。僕は、あまりニュース番組を観る習慣がありませんでした。しかし、大都市で感染者が増加したこと、

自分の身のまわりの新型コロナウイルスによる状況を知りたいと思いきよつを知りたいと思いきよつに興味を持ちました。そのことにより、他の出来事に興味が変わるようになりました。

これからも、新型コロナウイルスだけでなく、色々な出来事の正しい知識をとり入れて、自分の生活に活かしていきたいと思えます。



きたがわ こね
北川 心々
(名和小)

わたしの思い

わたしのお父さんは東京で単身赴任をしています。お父さんは、毎月一回、わたしたちに会いに来てくれます。ですが、今はコロナ禍で、お父さんとはずっと会えていません。毎日、毎日、東京で多くのコロナウイル

スの感染者が出ると、お父さんに感染しないか、すごく心配になります。それに早くお父さんに会いたいです。コロナ禍なんて早く終わって欲しいと思っています。

自由に外へ出て、会いたいときに会いたい人に見えるような、そんな世の中になって欲しいとわたしは思います。



つくし こうへい
露木 康平
(中山小)

改めて感じたこと

ぼくは、コロナ禍で改めて感じたことが二つあります。一つ目は、学校に行くことができないつれしです。コロナ禍で学校が臨時休業になって、家で毎日宿題や一人で遊ぶことしかできなくて、早く学校に行っ

てみんなと遊びたい、みんなと学習したいと思えました。

二つ目は、学校の行事です。遠足や運動会、そして、6年生になったら行くことができる修学旅行などが、延期になったり時間を短くしたりで少しいやだっただけで、実施できたのでよかったです。

今まで自分が当たり前だと思っていたことが、実は当たり前ではない、ということがわかりました。改めて大切にしようと思えました。

ゲレンデに待望の雪

あとがき

昨年はコロナに始まりコロナに終わった年でした。小中学校の修学旅行や運動会をはじめ、議会でも語る会や視察研修など、さまざまな行事やイベントが中止や変更を余儀なくされました。

一方で、昨年は年賀状の売り上げが伸びたそうです。あいさつなどをSNSなどで済ませることが主流となりつつある昨今、アナログ手法で気持ちを伝えることが必要とされたことに嬉しさを感じました。

この編集メンバーでの発刊は、最後の号です。相手を思い、書くことの大切さをしっかりとつないでいきたいです。

(池田)

【発行責任者】

議長 杉谷 洋一

【広報常任委員会】

- 委員長 大森 正治
- 副委員長 池田 幸恵
- 委員 西山 富三郎
- 委員 岡田 聡
- 委員 西尾 寿博
- 委員 野口 昌作
- 委員 大杖 正彦
- 委員 加藤 紀之